

青森県環境生活部県境再生対策室 現地事務所だより

第19号 平成19年3月9日発行

発行元: 青森県環境生活部県境再生対策室現地事務所

TEL 0179-20-7044

〒039-0201 三戸郡田子町大字田子字天神堂向146

FAX 0179-20-7045

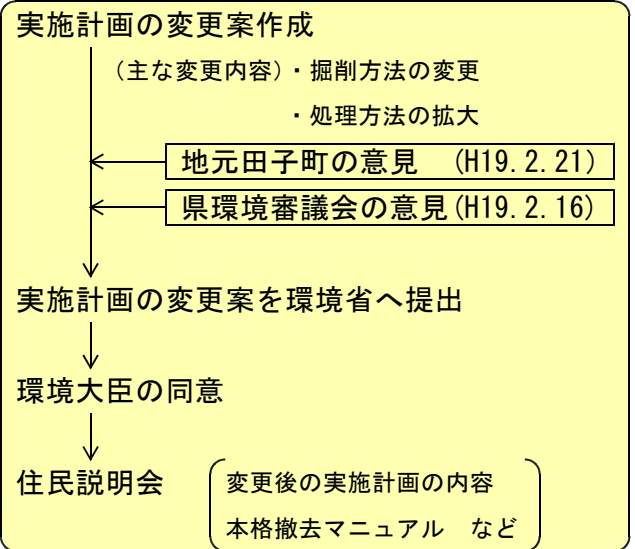
県境再生対策室ホームページ <http://www.kenkyo.pref.aomori.jp/>

■実施計画の変更手続きを進めています。

主な汚染拡散防止対策工事が完了することに伴い、地中堆積廃棄物の掘削・撤去を開始することとして、その方法などを定めた「本格撤去計画書」を平成18年11月22日に作成しましたが、これに合わせて、原状回復事業の実実施計画書の変更手続きを進めています。

主な変更部分は、①掘削方法を標高の高いエリアからスライス式に掘削するよう変更すること ②その性状等から焼却、焼成、熔融の加熱処理に適さない廃棄物を適正処理するため、処理方法を拡大することの2点です。

田子町及び県環境審議会からいただいた意見を添付した実施計画の変更案について、環境大臣からの同意が得られた場合、住民説明会を開催し、その内容などについて住民の皆さまにお知らせすることとしています。



【実施計画変更の流れ】

■農作物中のダイオキシン類調査結果がまとまりました。

県境に不法投棄された廃棄物による影響の有無を把握し、安全性を確認するとともに、風評被害を未然に防止するため、田子町の主要農作物（にんにく、枝豆、米）中のダイオキシン類調査を毎年度実施しています。

このたび、今年度の調査結果がまとまりましたが、その結果は、昨年度の調査結果と同様、**国が公表している調査結果と比較して十分に低い値でした。**

【農作物中のダイオキシン類調査結果】

(単位：pg-TEQ/g-wet)

採取地点 農作物名	熊原川上流域	現場付近	熊原川下流域	検体採取日
にんにく	0.000095	0.000071	0.000039	H18年8月8日
枝豆	0.00079	0.00034	0.00080	H18年8月8日
米(精米)	0.0000071	0.000018	0.0000060	H18年10月25日

【参考】

国が公表している農作物中のダイオキシン類調査結果 (単位：pg-TEQ/g-wet)

作物名	濃度の範囲	備考
枝豆	0.000098~0.0040	平成14年度農用地土壌及び農作物に係るダイオキシン類実態調査
水稲	0.000029~0.011	平成17年度農畜産物に係るダイオキシン類実態調査

注) にんにくについては、国が公表している調査結果はありません。

■廃食品の撤去を行いました。

本格撤去選別施設の予定区域の整備中に、中身の入ったペットボトル、タレ・スープなどの小袋、缶詰類などの廃食品が発見されました。

廃棄物の処理は、原則として県内で行う方針ですが、発見された廃食品の性状は県内の施設で処理できないものであったため、秋田県の同意を得て、下記のとおり約299トンの廃食品を同県内の中間処理施設へ搬出し、焼却処理しました。

- ① 撤去期間 平成19年2月6日から平成19年2月21日まで
- ② 処理業者 エコシステム秋田(株) (秋田県大館市花岡町)
- ③ 運搬業者 同和通運(株) (岩手県奥州市水沢区)
- ④ 撤去量 298.7トン

(注) 廃食品は、平成16～17年度にも撤去しており、平成16年度は約89トン、平成17年度は約253トン撤去しています。



【1日に3台の天蓋車で搬出しました】

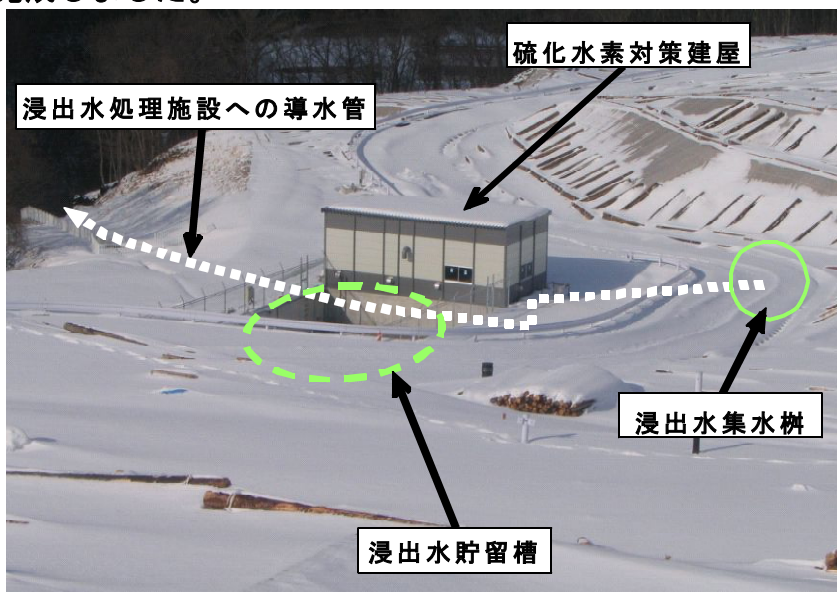
■硫化水素対策建屋と浸出水貯留槽が完成しました。

不法投棄現場内で標高が最も低い場所に整備を進めていた硫化水素対策建屋と浸出水貯留槽が完成しました。

浸出水は、主に3系統の浸出水管（暗きょ）を通じて浸出水集水樹に集められ、硫化水素対策建屋の下部の水槽を通過して、浸出水処理施設へ導水されます。

硫化水素対策建屋は、浸出水から高濃度の硫化水素ガスが発生した場合に、活性炭吸着処理装置で硫化水素ガスを除去するための施設です。

硫化水素対策建屋の隣に整備した浸出水貯留槽は、400m³の容量があり、万が一、浸出水処理施設への導水管が破損するなどして浸出水を下流に流せない事態が起きた場合に、緊急避難的に浸出水を貯めておくための施設です。



【平成19年2月20日撮影】

■不法投棄産業廃棄物の一次撤去状況

2月末までの不法投棄現場からの一次撤去状況は次のとおりとなりました。

八戸セメントの定期点検期間と重なったため、2月の撤去実績はやや少なくなりました。3月上旬からは同社への搬出を再開することにしており、点検による搬出休止がなかった1月の搬出実績が約4,371トンだったことを考慮すると、3月末までに一次撤去の予定数量である96,000トンは達成できるものと見込んでいます。

(撤去量の単位：トン)

年度・月別	16年度実績		17年度実績		18年度1月まで		18年度2月		合計	
作業日数	67日		224日		197日		16日		504日	
搬出台数・搬出量	台数	撤去量	台数	撤去量	台数	撤去量	台数	撤去量	台数	撤去量
固形廃棄物	605	6,016	3,432	37,504	3,499	37,917	336	3,712	7,872	85,149
液状廃棄物	491	5,372	242	2,388	—	—	—	—	733	7,760
計	1,096	11,388	3,674	39,892	3,499	37,917	336	3,712	8,605	92,909